

第2回 25歳の集いを開催



令和7年12月30日、伝統産業会館において「25歳の集い」を開催しました。この集いは、20歳の集い以来集まる機会が減り、町や人とのつながりが希薄になることから、25歳の節目に集いの場を設けることにより、出身者同士の交流を図ることを目的としています。

当日は、奥出雲町出身の25歳14名が集まり、町の取り組みを紹介した後、参加者同士で近況を報告し合ったり、ゲームを楽しんだりし、交流を深めました。懐かしい顔との再会は、改めて「町とのつながり」「人とのつながり」として実感できたことと思います。

町では継続してこの集いを実施する予定であり、このような機会をきっかけに、ふるさとを見直しし、Uターンにつながることを期待しています。



人権を考える町民のつどいを開催しました！

意味を考えておくことが大切



▲佐藤みどりさん講演の様子

毎年12月4日から12月10日の1週間は人権週間と定められており、奥出雲町人権教育推進協議会では人権を考える町民のつどいを12月13日にカルチャープラザ仁多で開催しました。

当日は、町民のみならず募集した人権標語及び人権イラストの優秀作品表彰式を実施しました。今年は標語部門に736点、イラスト部門に26点の応募があり、最優秀作品は左記のとおりでした。昨年から設けられた標語「小学生の家族の部」には47点の応募があり、この取組を通して家族で一緒に人権について考えるきっかけづくりとしました。表彰式では審査員を代表して奥出雲町人権教育推進協議会の福田充雄会長が「作品づくりを通して学校や家庭、地域で互いに尊重し合うことの大切さについて考えるきっかけにしてほしい」と講評しました。

また、表彰式の後には人権意識の高揚のための講演会を実施。LGBT理解啓発講師の佐藤みどりさんをお招きしご講演いただきました。LGBT当事者としてご自身の経験をふまえて、大切にしたいことをわかりやすくお話ししていただきました。

奥出雲町人権教育推進協議会では、今後も継続して町の人権教育推進のための活動を続けていきます。

『SNS 画面の先にも人はいる』

イラストの部

藤原亜咲子さん
(阿井小6年)



▲藤原亜咲子さんの作品



▲表彰される藤原亜咲子さん



▲家族の部の表彰

講演会内でのディスカッションタイムの様子▶



人権擁護委員に1名が委嘱されました

千葉朋子さん(亀高)が1月1日付で法務大臣から人権擁護委員に委嘱されました。任期は3年です。

奥出雲町では6名の人権擁護委員が特設人権相談所の開設、学校訪問などの人権啓発活動に取り組んでいます。

奥出雲町の人権擁護委員

- ・久井 一さん(亀高)
- ・長谷川恵美子さん(三成)
- ・千葉 朋子さん(亀高)
- ・廣田 孝子さん(馬木)
- ・森長 洋二さん(阿井)
- ・本山 宏人さん(馬木)



人権イメージキャラクター 人KENまもる君



人権イメージキャラクター 人KENあゆみちゃん

東京奥出雲会



11月8日
アルカディア市ヶ谷
(東京都千代田区)で開催
約70名が参加

関西奥出雲会



11月22日
ホテル日航大阪
(大阪市中央区)で開催
約120名が参加

瀬戸内奥出雲会



1月17日
広島ガーデンパレス
(広島市東区)で開催
約40名が参加